

1 計画の基本理念【案 ①】

地域のぬくもりが 子どもと親をつつむ
優しさあふれるまち よしかわ
～ 未来を担う子どもたちのために ～

我が国における急速な少子化の進行は、いまだかつてない危機的状況で、社会保障制度の維持等にも深刻な影響を与え始めています。また、その影響は、社会経済情勢のみならず、家庭及び地域社会を取り巻く環境にも大きな変化を生じさせています。

この少子化に歯止めを掛け、親（保護者）と子どもがいきいきと生活できる環境をつくるため、今日、あらためて人と人がふれあうことの大切さが認識されています。

このような中、未来を担う子どもたちは、人と人を結ぶかけがえのない存在であり、その成長していく輝きは次代への希望の光となるべきものです。人々がふれあうことのできるまちで、子どもたちが健やかに誕生し、げんきに成長していけるような、安全で安心して暮らせる地域社会を、私たち大人が築いていく必要があります。

そこで、どうしたら子どもを生き育てやすい環境になるか、子どもたちは何を求めているのか、子どもたちにとって何が大切なのかを私たちが主体的に考えて行動していく必要があります。

そのためには、行政をはじめ、関係団体や関係機関が協働して取組を進めていかなければなりません。

以上の考えを基に、この基本理念を定めます。

1 計画の基本理念【案 ②】

地域のぬくもりが 子どもと親をつつむ
優しさあふれるまち よしかわ
～ 未来を担う子どもたちのために ～

未来を担う子どもたちは、人と人を結ぶかけがえのない存在であり、その成長していく輝きは次代への希望の光となるものです。

しかしながら、現代の子どもたちや子育て中の家庭を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。さらに、核家族化をはじめとする様々な事情で、それぞれの家庭における「子育て力」が低下するとともに、地域のつながりも希薄化しています。

こうした中、子どもたちの健やかな成長と子育て中の家庭が心豊かに子育てを実現するためには、地域のあたたかい支えが欠かせません。

地域の人々の見守りとふれあいがあふれるまちで、子どもたちが健やかに誕生し、げんきに成長していけるような、安全で安心して暮らせる地域社会を、私たち大人が築いていく必要があります。

そのためには、個人や地域、企業（事業主）を含めた関係団体、国や地方公共団体をはじめとする関係機関による密接な連携と協働のもと、地域がともに次代の子どもたちを育むことができるまちづくりを進めていかなければなりません。

以上の考えを基に、この基本理念を定めます。

1 計画の基本理念【案 ③】

地域のぬくもりが 子どもと親をつつむ
優しさあふれるまち よしかわ
～ 未来を担う子どもたちのために ～

未来を担う子どもたちは、人と人を結ぶかけがえのない存在であり、その成長していく輝きは次代への希望の光となるべきものです。私たち大人が、子どもたちが健やかに誕生し、げんきに成長していけるような、安全で安心して暮らせる地域社会を築いていかなければなりません。

しかしながら、子育てを取り巻く環境は年々変化し、核家族化の進行や地域住民同士のつながりの希薄さから見える子育ての孤立化をはじめ、長期的な不況による経済的不安や、子どもを巻き込む犯罪など、子育て家庭だけでは解決できない問題が増えてきています。

そこで、どうしたら子どもを生き育てやすい環境になるか、子どもたちは何を求めているのか、子どもたちにとって何が大切なのかを私たちが主体的に考えて行動していく必要があります。

次世代を担う子どもたちを育てるためには、子育て家庭のみならず、個人や地域、企業（事業主）を含めた関係団体、国・地方公共団体をはじめとする関係機関による密接な連携と協働のもと、取組を進めていかなければなりません。

以上の考えを基に、この基本理念を定めます。